

代表質問通告書（令和2年12月定例市議会）

質問 順序	質問者	質問の要旨	具体的内容	答 弁 順 序	答 弁 者
1	鴻治会 川邊 隆	1. ユネスコ食文化創造都市の認定について	(1) 「ユネスコ食文化創造都市の認定」とは、どのようなものかを説明して下さい。 (2) 白杵市が「ユネスコ食文化創造都市の認定」を目指した経緯、理由を教えてください。 (3) 認定されることによる経済効果等は、どのくらいだと想定されていますか。		
2	新風会 若林 純一	1. 野津東部工場用地について	(1) 野津東部工場用地の現状及び活用方針について		
		2. 白杵市不燃物最終処分場跡地について	(1) 白杵市不燃物最終処分場跡地の現状及び活用方針について		
		3. 津久見島について	(1) 津久見島の現状及び活用方針について		
3	市民クラブ 長田 徳行	1. 教育について	(1) 教員不足について 病気や怪我などで休職や退職をする教諭が多く代替教員が不足していると聞きます。生徒や保護者に不利益が生じていないか心配されます。現状と課題、具体的な対策についてどのように捉え解決に向けてどのような手立てをお考えですか。また、休職者の現状はどのようになっていますか。 (2) 人事について 新採用の教員は10年3地域で勤務することが基本とされています。大学を卒業して採用された場合22歳から32歳の間、広域での移動勤務が強いられることで精神的、肉体的負担が大きくなっていないか、結婚、妊娠、出産を控えることにつながっていないか憂慮されます。また、管理職も広域人事による弊害があるように感じます。現在地域とのつながりが求められるコミュニティスクールも導入される中、職場の把握や現場での諸課題の対応に時間を割きづらい状況にあると考えられます。以上2点について県教委へ改善を求めているか、いかがでしょうか。		
		2. 行政区の再編について	(1) 再編に向けての基本的な考え方について (2) 地区との協議事項の手順について (3) 自治会ごとの人口の推移と高齢化率について (4) どのような課題を捉えているか (5) 将来的な自治会のあり方について		
4	創政会 伊藤 淳	1. これからのまちづくりについて	(1) 白杵市の最高規範である、白杵市まちづくり基本条例には「市民が幸せを実感できるまち」を実現するとあり、その実現を目指すために、第2次白杵市総合計画の後期基本計画が今年度示されました。また、歴史的にみて、新型コロナウイルス感染症のような世界的な規模の感染症が発生し終息した後は、大きな社会的変化が起きているとされます。そこで、「市民が幸せを実感できるまち」を実現するための取り組みについて、今後の方針等を教えてください。		
		2. 新型コロナウイルス感染症対策での市民への支援策について	(1) 11月に入り、全国的に新型コロナウイルス感染症の第3波到来と言われています。そのような中、全国の自治体において「公共交通機関しか移動手段が無い市民」が、公共交通機関の利用を避けて、かかりつけ医など身近な医療機関を受診するための移動手段は確立されていないという現状など、新型コロナウイルス感染症対策を考える上で、課題が残っていると思われま。そこで、新型コロナウイルス感染症対策での市民への支援策について、現時点での実現可能な範囲でお考えを教えてください。		